



樹木いきいき講座 <その15> 3班 藤原満男

◆剪定は、大きくなり過ぎたり混み過ぎたらやりま
す。敷地の外や、玄関に立って、またメインの部屋から
庭の椅子に坐って庭木はどうなっていますか。

角度を変えてよく見て、隣や通路などにはみ出して
いたり屋根の樋より高い所は剪定して除きます。また不
揃いのはみ出しを整え、高くなり過ぎていれば幹を低く
します。

◆枝は、冬の陽当りを良くし、夏の日陰を確保しま
す。生垣で通行人や隣の視線からも守ります。枝が多け
れば幹の付け根で切る透かし剪定、長くなり過ぎた枝は
切り戻し剪定をし、枝同士が交わっていたり上下に重な
っていたら片方を除くか短くします。この辺の判断の仕
方は個性です。失敗しながら理解します。戻り枝と言っ
て外側から幹に向かう枝や、真上に伸びる徒長枝、ひこ
ばえや胴吹きは剪定して除きます。付け根や股の所で切
りデベソを作らないようにします。

◆作業の手順としては、奥から手前に、高い所から
低い所に、太い枝を先に切り中枝小枝を切ってゆきま
す。切った枝葉は、虫や病気の原因になるし見苦しいの
で残さず片付けます。

【剪定を行う枝】

